

# 感じたまへ

佐久間重代

四四

幼児教育誌から何か記せと、申されましたが、別に新しい考へも、ありませんから、自分の事を記しますも、おこがましい次第で御座いますが、私の實際経験致しまして、感じました事を申上て見ませう。

人には様々の癖があります。なくて七癖とやら申しまして、その癖は接近する幼児に、一番染りやすいから、保育者は、十分の注意が、必要であるといふ事を、先生方の講演でも承はり、又保育に關する書籍などにも、教へらるゝ事で御座いますが、私自身には、常に別に悪い癖などは、少しもなきものと、安心致して居りました處。約十年餘も前、園の年長組の(遊戯)を致しました時の事です、常によく注意して、上手に致します幼児が、變な足つきを致しますので、幾度も正してみましたが、なか／＼なほりません、どうした事かと、私は考へましたが、これは自分があつたやうな、足つきをするのではないかしらんと、宅へ歸つて幾度もその遊戯を繰返して、やつて居るうちに、自分の足が内輪であつた事に、気がつきました。それから後は、一と足歩くにも、内輪をなほす事に、専心注意を致しました處、三ヶ月ほどの後やうやく

矯正する事が出来ました。一度間違つて受け入れられた事は、なか／＼なほすのに、骨の折れるもので御座います、これまで自分では一向氣付かず、一と角よいと思つて居りました事も、此の様な氣づかぬ癖の爲めに、幼児に迄悪影響を及ぼし、誠に申譯のない事と、すまなく思ひました。御承知の通り、幼児は、模倣性にとんで居りますから、善きにつけ、惡きにつけ、すぐに見つけて模倣すると言ふ事を其の時、痛切に體驗致しました。此の外面的に、現はれた事は、すぐ氣付きて、矯正する事が出来ますが、精神上で、感得されました事は、このやうに、早く目の前に、現はれて参りませんから、是は一層大切の注意を要する事と思ひます。自分の事を、省みますと、總べての點に於て、保姆として、不完全の者で、折角與へられた使命に對し、斯くては餘りに、不甲斐なき事と自覺し、此の上は、更に／＼精神的方面の修養をもつとうとして奮勵努力保育に、従事致されば、我が使命に、對しても申譯ないと思ひまして、大いに修養の必要なる事を感じました。時今非常時に直面して將來の日本國民たるべき幼児を一層よりふき人として、育てあげなければ、ならぬと思つて居ります。